

個人投資家様向け会社説明資料

代表取締役 社長執行役員 江守 康昌



 日華化学株式会社

(東証スタンダード・名証プレミア：4463)

2025年9月4日

はじめに（日華化学を一言で表現すると）



=

様々なモノとモノの境界面を
“アクティベート（活性化する）” 技術 で、
人々の暮らしや社会を輝かせる会社

はじめに



＼ココにもソコにも！／
実は身近な**日華化学**の技術！



化粧品事業



ヘアケア剤
カラー剤
スタイリング剤など

化学品事業



カーシートの
難燃剤・防汚剤など



衣類の撥水剤
吸水速乾剤
抗菌消臭剤など



クリーニング用
洗剤・柔軟剤など



新聞紙等の
脱墨剤など



デジタルデバイスの
潤滑材・防汚剤など

目次

1	— 日華化学とは	P 4
2	— 中長期グループ成長シナリオ	P 24
3	— 株主還元	P 31
4	— 2025年第2四半期 決算概要	P 34

目次

1	— 日華化学とは	P 4
2	— 中長期グループ成長シナリオ	P 24
3	— 株主還元	P 31
4	— 2025年第2四半期 決算概要	P 34

数字で知る日華化学



創立 (1941年9月15日)

84年

SINCE 1941

本社／福井県福井市

売上高 (2025年12月期予想)

570億円



前期比／5.4%UP

営業利益 (2025年12月期予想)

36億円



前期比／2.3%UP

従業員数 (2024年末時点)

1,531名



単体／615名

海外拠点数 (2024年末時点)

9つの国と地域



16拠点

工場・研究所含む

海外売上高比率
(2024年通期実績)

49%



グローバル企業

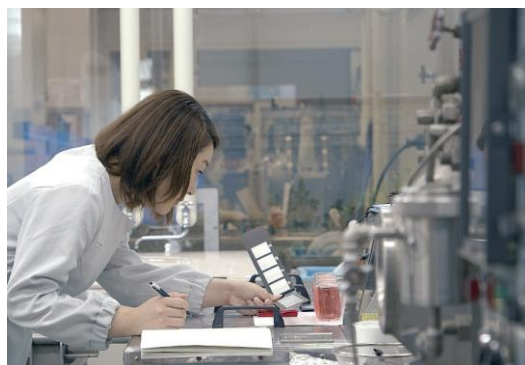
研究開発型メーカーとして



企業理念

「製品を売るにあらずして技術を売る」

NICCA イノベーションセンター（研究開発拠点）を中心に、
ビジネスパートナーとの距離を縮め、新しい製品と事業の創出を加速

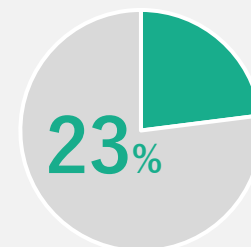


✓ **4人に1人**が、研究開発に従事！

<研究開発人員比率>

当社単体 23%

国内製造業平均* 8%



*当社調べ（国内製造業における当社と同規模企業の平均値）

コア技術

コア技術

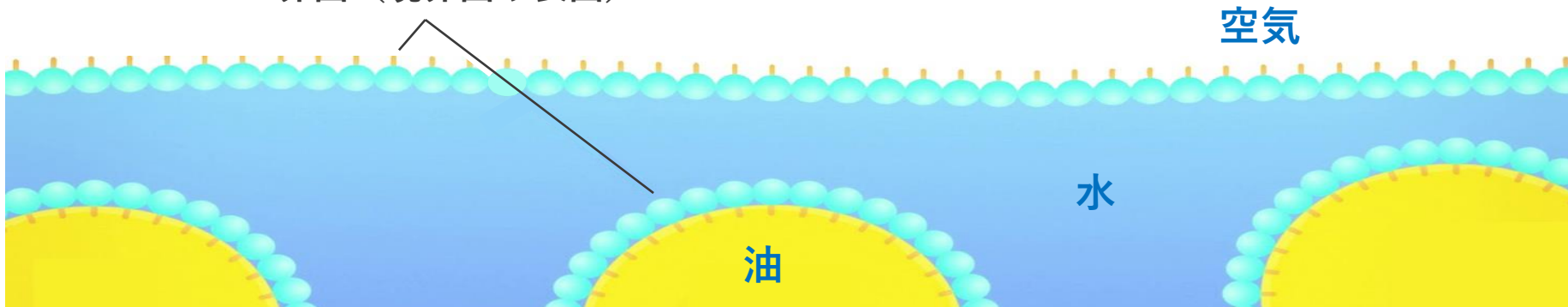
界面力ガク

科学（サイエンス）と化学（ケミカル）双方のアプローチで、
様々なモノの「界面」をコントロールする技術

そもそも
界面とは？＝

- ✓ 液体と液体が接するところ 例：水と油（乳化）
- ✓ 気体と液体が接するところ 例：空気と水（泡）
- ✓ 液体と固体が接するところ 例：水と生地（撥水） など

界面（境界面や表面）



コア技術

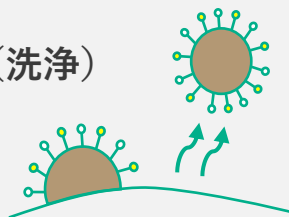
コア技術

界面力ガク

界面を自在にコントロールすることで、
私たちの日常生活に新たな価値と豊かさをもたらしている

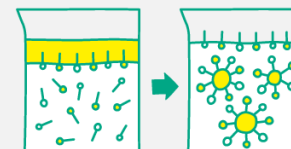
1 洗う

汚れを落とす（洗浄）



2 混ぜる

混じり合わないものを
混ぜる（乳化・分散）



3 泡を操る

泡を作ったり、
消したりする
（起泡・消泡）



4 染み込ませる

濡れやすく
染み込みやすくする
（湿潤・浸透）

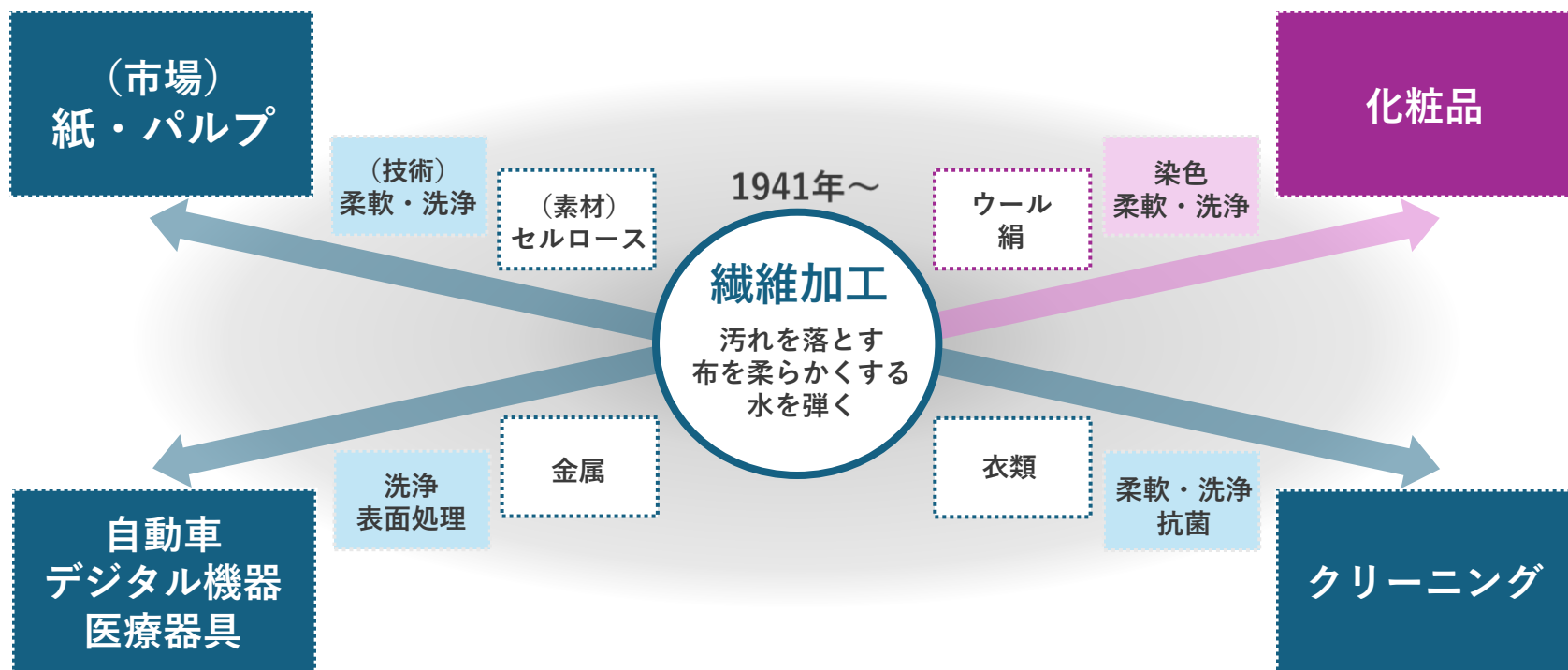


コア技術

コア技術

界面力ガク

80年以上にわたって繊維産業の中で培われた
「界面をコントロールする技術力」で様々な産業に展開（BtoB）



※素材・技術・市場については代表的な一例を記載

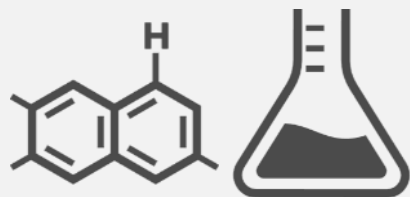
事業内容



2つの事業領域

〈売上高比率〉

7:3



化学品

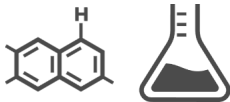
Chemicals



化粧品

Cosmetics

事業内容（化学品事業）



目には見えないけれど、あなたの毎日を支える技術で、
国内シェアNO.1・世界トップクラスの製品を多数展開

01

繊維 関連の化学品

工程薬剤 洗う・染める工程等で使用する薬剤



SMART
DYEING
PROCESS

- ✓ 環境負荷低減（節水・省エネ）
- ✓ 生産効率向上（時短）
- ✓ 作業環境改善 に貢献

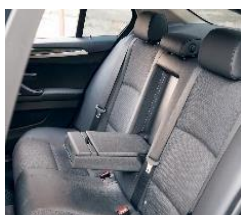
仕上げ剤 付加価値を加える薬剤



撥水剤・消臭剤



防炎剤・抗菌剤



防汚剤・難燃剤 など

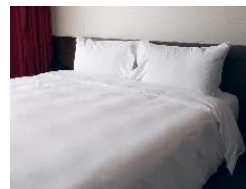
02

クリーニング・医療 関連の化学品

クリーニング用薬剤



ホテルリネン用薬剤



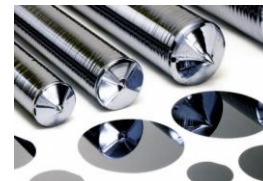
手術器具の洗浄剤 など

03

スペシャリティケミカル

* グループ会社：大智化学産業(株)

半導体用薬剤

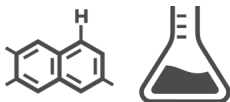


新聞紙等の脱墨剤



感熱紙用薬剤 など

事業内容（化学品事業）



当社独自のアプローチ

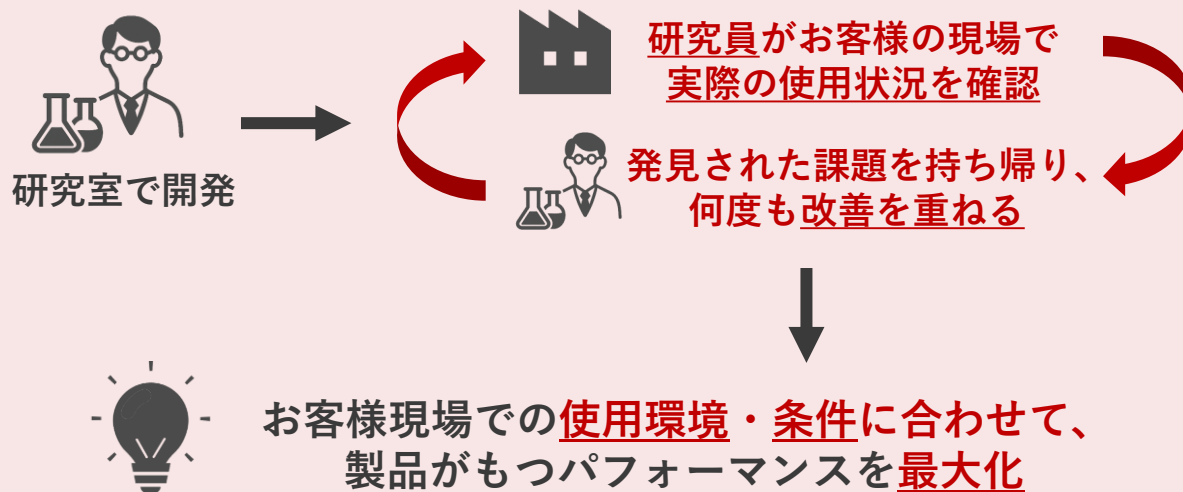
『顧客現場発イノベーション』をグローバルで実践

一般的な開発プロセス



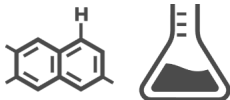
△研究室で確認された効果が、現場では十分に発揮されないことも

【当社の強み】顧客現場発イノベーション



- ◎培ったノウハウを新たな技術・製品開発に繋げる
- ◎お客様との深い信頼関係・長期的な協働関係を構築

事業内容（化学品事業）



高性能

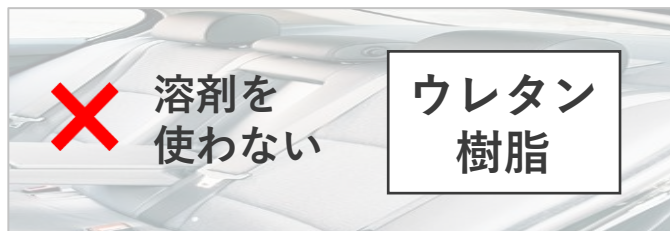
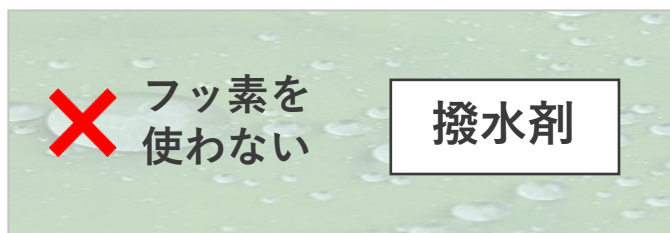
×

サステナブル

な製品開発で世界をリード

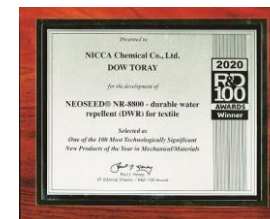
経済産業省「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」にも選出

（製品例）

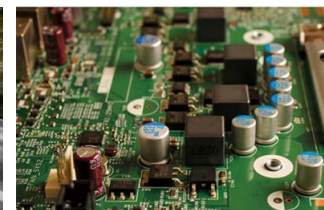


「2020 R&D100 AWARDS」 受賞

R&D
100
AWARDS



世界的大手メーカーに多数採用
（アパレル／自動車／半導体など）



事業内容（化学品事業）



TOPICS) ニトリ社との共同開発素材「Nシールドファブリック」

2024年度グッドデザイン賞を受賞（素材として受賞）（2024年10月17日）

＼引っかけ傷・汚れに強い！お子様やペットと一緒に暮らすご家庭でも快適・安心！／



**GOOD DESIGN
AWARD 2024**



N-Shield_®
N・シールド
Fabric

その他ニトリ社との共同開発実績

抗菌防臭・抗ウイルス加工の
①学習机 ②ダイニングセット

* ニトリ社×帝人フロンティア社×日華化学の3社コラボレーション開発

事業内容（化学品事業）



TOPICS) ポリエステルアップサイクル技術「ネオクロマト加工」

令和7年度知財功労賞 「特許庁長官表彰」を受賞（25年3月）

国内外において事業戦略に対応した細やかな知財ポートフォリオ構築を実践すると共に、オープンイノベーションの積極推進による知財を活用したビジネス創出など、知的財産制度を有効活用する企業として評価



* ネオクロマト加工
わずか数分で、水を一切使わずにポリエステル生地染料を脱色できる技術

TBS系SDGsプロジェクト「地球を 笑顔にする広場 2025春 参加（25年5月）」

ハンドタオルを「ネオクロマト加工」技術で脱色し、自分の塗り絵をプリントしたオリジナルタオルとして生まれ変わらせるというワークショップを実施



大阪万博 出展予定（25年10月）

日 時	2025年10月5日（日）～7日（火）		
エ リ ア	大阪・関西万博EXPO メッセ内日本弁理士会 主催「ビジネス/技術 アイデアコンテスト」		日本弁理士会 サイト
内 容	ネオクロマト加工 技術体験会・ワークショップ		

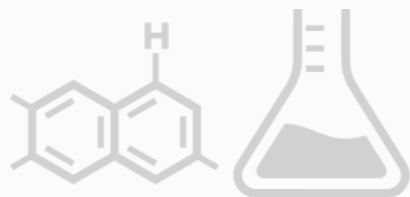
事業内容



2つの事業領域

〈売上高比率〉

7:3



化学品

Chemicals



化粧品

Cosmetics

事業内容（化粧品事業）



絹を綺麗に洗う・ウールを痛めずに染める技術を毛髪に応用（1981年～）
研究開発型企业として、業界で確固たる地位を確立

01

DEMI

EraL

美容室専売品（2つの自社ブランド）

* グループ会社：イーラル(株)

施術品

美容師さんが施術で使う業務用の商品



- ・ヘアケア剤
 - ・スカルプケア剤
 - ・スタイリング剤
 - ・カラー剤
 - ・パーマ剤
- など

店販品

美容室で来客者に販売する商品



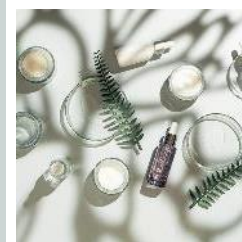
- ・ヘアケア剤
 - ・スカルプケア剤
 - ・スタイリング剤
- など

02

ODM・OEM

* グループ会社：山田製薬(株)

相手先ブランドの
受託開発・受託生産



事業内容（化粧品事業）



「髪を科学する」～頭皮と髪の健康と美しさを科学で進化させる～

【強み】“レシピの開発力”

- ✓ 毛髪科学による高い研究開発力
- ✓ 国内有数の研究機関・大学との共同研究
- ✓ 髪のスペシャリスト 美容師との連携

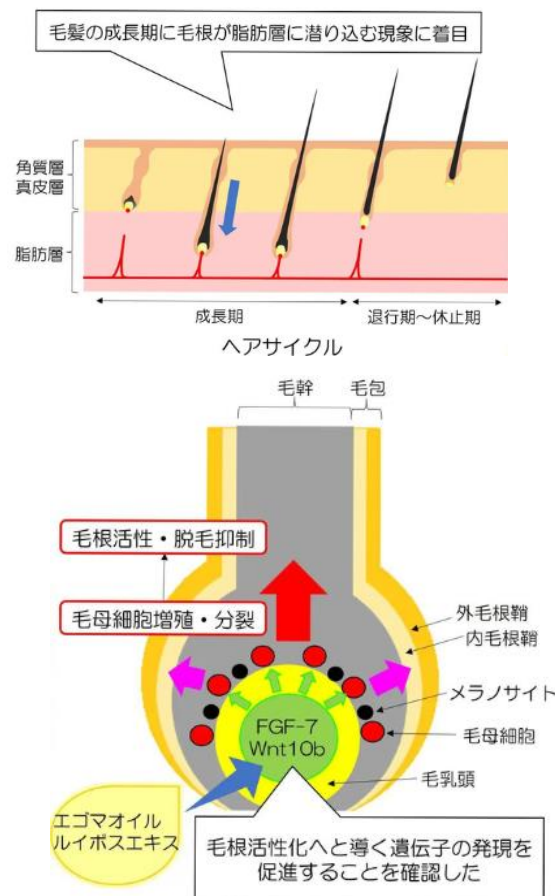


3,000 以上のレシピを保有

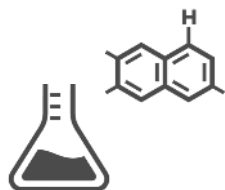
一人ひとり異なる
毛髪の悩みに
応える商品群

豊富なレシピで
取引先のニーズを
具現化(ODM)

お客様からの
高いリピート率



事業内容（化粧品事業）



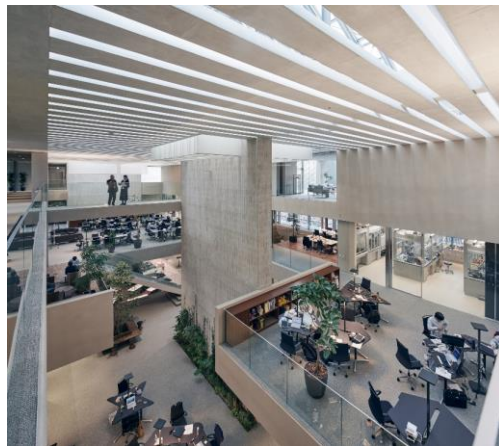
「化学メーカー」が母体だからこそ、
機能性と独自性の高い商品開発が可能



当社研究開発拠点

NICCA イノベーションセンター（2017年完成）

美容室を再現したスタジオで評価



～オープンイノベーション～

化学品



化粧品

お互いの研究ノウハウを共有

事業内容（化粧品事業）



TOPICS)

FRONTEO社とAI創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」を活用した
化粧品領域の新規標的探索プロジェクトを開始（2025年8月5日）



長年培ってきた日本人の
毛髪・頭皮・皮膚についての豊富な知見



FRONTEO

強みとする創薬領域での
AI技術や仮説生成力

* (株)FRONTEO（東証グロース／2158）



これまで解明することが困難であった症状の原因や改善の糸口を、
AIによる網羅的かつ非連続的な情報解析によって明らかにし、製品開発に応用

グローバル展開



1968年からアジア諸国を中心に積極的な**グローバル展開**

海外拠点数

アジアを中心に、
9つの国と地域に

16 拠点

(工場・研究所含む)

海外売上高比率

全体売上高の

49 %

(2024年度実績)



模倣困難ポイント



現地開発・現地生産・現地販売

+



各拠点の連携

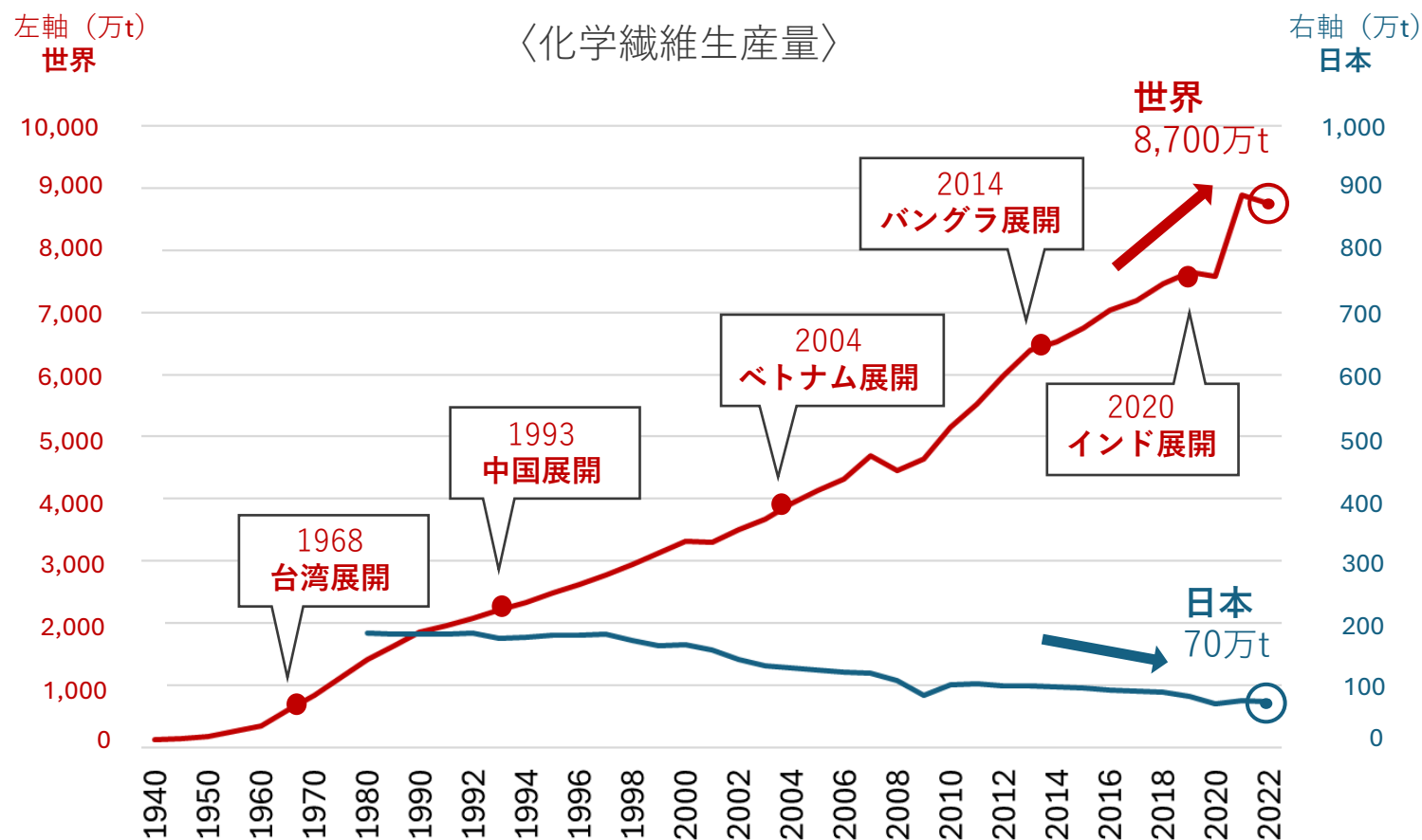


『顧客現場発イノベーション』を
海外でも同様に実践

グローバル展開



繊維産業はグローバルの人口増加に合わせて**需要拡大**
成長する海外市場にいち早く参入

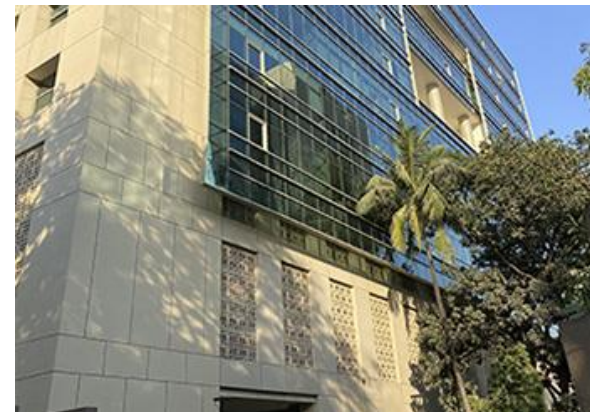


(引用元：日本化学繊維協会資料)

グローバル展開



NICCA INDIA PRIVATE LIMITED (インド)
2024年黒字化、2025年は更なる成長見込み
(2020年 設立／2022年 本格稼働／2022年～2023年 赤字)



*NICCA INDIA PRIVATE LIMITED



2025年8月8日リリース
バングラデシュにおける
保税倉庫建設を再開、2027年1月営業開始予定
(2014年 リエゾンオフィス開設)
(2023年 倉庫建設着手も、法改正や政変により一時中断)



*リエゾンオフィス

目次

1	— 日華化学とは	P 4
2	— 中長期グループ成長シナリオ	P 24
3	— 株主還元	P 31
4	— 2025年第2四半期 決算概要	P 34

中長期的に目指したい姿 (2024/7/31公表)



ビジョン

世界中のお客様から
最も信頼されるイノベーションカンパニーへ

✓ 2035年までに目指したい姿 (現状2024年)

売上高

750億円 (540億円)

営業利益率

10%以上 (6.5%)

ROE

10%以上 (8.6%) **重点目標**

ROIC

8%以上 (5.8%)

DOE

3%以上 (2.5%)

PBR

1倍以上 (0.5)



低PBR改善に向けた
取り組みの基本方針

- 1 事業の収益性改革
- 2 財務／資本政策の見直し
- 3 SR／IR強化

※当社の株主資本コストは約8%、現状のWACCは約6%と推定

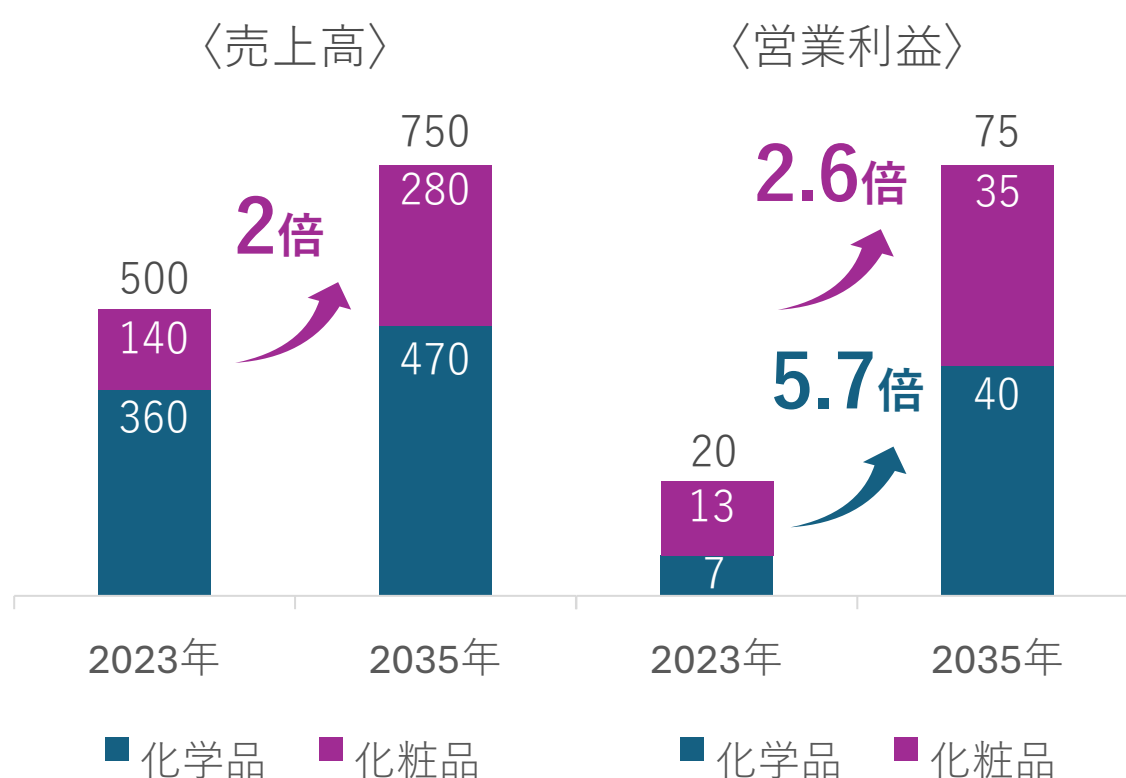
事業の収益性改革



化粧品 「新工場建設」により**売上高・収益性**両面での更なる成長
化学品 「EHD事業」へのシフトにより**収益性**の向上

■利益率の比較

**化粧品の方が
利益率が高い！**



事業の収益性改革（化粧品事業）



成長戦略

2027年稼働予定「化粧品新工場」で事業拡大・生産性向上

生産性大幅改善

- ✓ 24時間稼働
- ✓ デジタル化・自動化・省人化
- ✓ 人的生産性 現工場の**1.5倍**に！

製造キャパシティ大幅アップ

- ✓ 現工場の**3倍**に！

環境対応工場

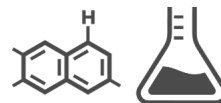
- ✓ 太陽光発電
(現工場の約7割の電力をカバー)
- ✓ CO2排出削減、排水量削減等

働きやすい職場環境



投資規模	約195億円
補助金上限額	49億9,991万円（補助率1/3）
資金調達	総額140億円のシンジケートローン
建設予定地	福井市（北陸道福井ICより0.5km）
面積	土地／39,772㎡ 建物／23,000㎡（延床面積）

事業の収益性改革（化学品事業）



成長戦略

利益率の高い「EHD事業」へのシフトで収益性向上を目指す

E nvironment（環境）

省エネや節水に貢献する製品開発 ・ 環境負荷の小さい原料や容器への切替 など

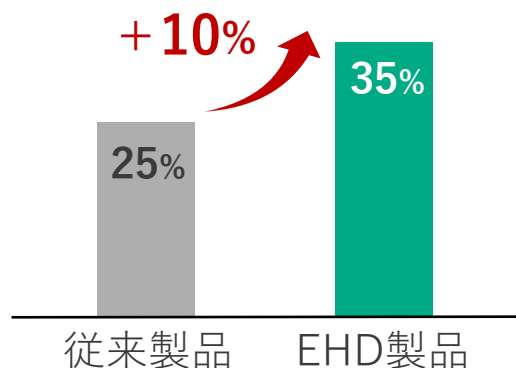
H ealth（健康・衛生）

アパレル、インテリア向け抗菌抗ウイルス加工 ・ 医療器具用の薬剤の開発 など

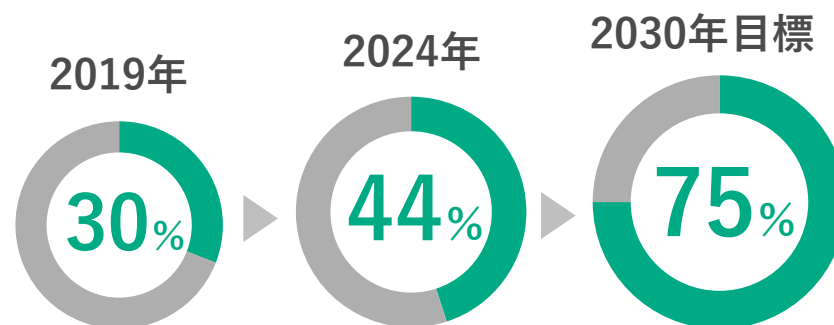
D igital（先端材料）

半導体用の薬剤の開発 ・ デジタル化を促進する薬剤供給管理システムの提供 など

〈利益率の比較〉



〈EHD売上高比率〉

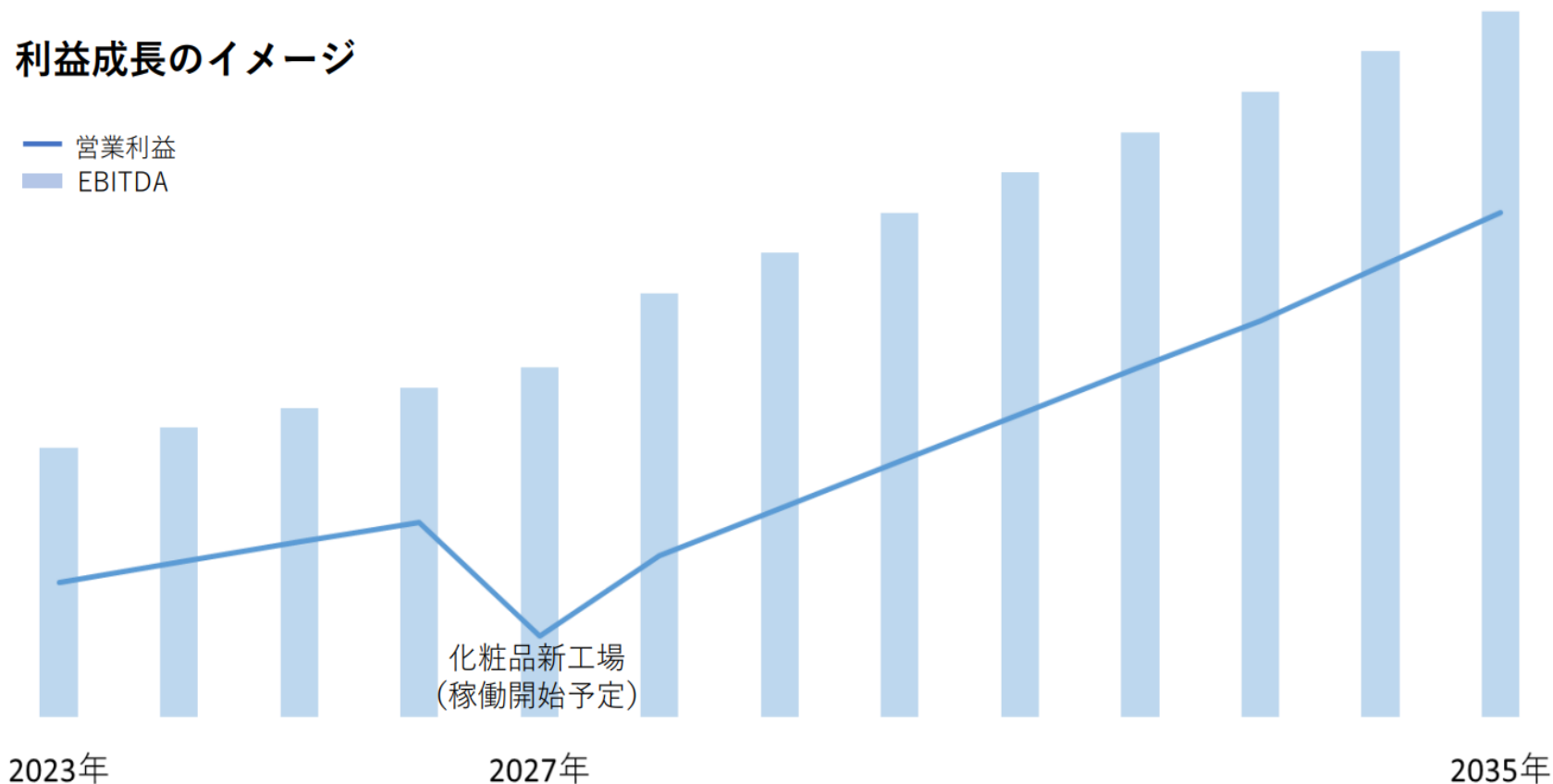


利益成長のイメージ (2024/7/31公表)



化粧品新工場稼働により、2027年以降一定期間は償却負担が増加
当社の稼ぐ力は、化学品の収益改善と併せて安定的に高まって行く

利益成長のイメージ



各施策の進捗 (2025/7/31公表)



2025/7/31

『資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）』を公表
現状認識や取り組み方針に対する足元の進捗状況についてアップデート

取り組み（2024年7月公表時より変更なし）	進捗状況
1. 事業の収益性改革 - 高収益×成長領域への集中と積極投資 - 化粧品事業拡大・更なる収益性向上のための新工場建設 - 化学品事業EHD集中戦略の継続推進 - 低収益事業の見直し	- 化粧品事業の拡大 - 新工場 2025年4月着工 - EHD集中戦略の推進による利益率向上 - EHD売上高比率 2019年30%→2025年上期45% - 営業利益率 2019年3.0%→2025年6.5%
2. 財務／資本政策の見直し - 自己資本のコントロール - 財務レバレッジを効かせる - WACCの最適化 - 不要資産の整理・圧縮	- 財務レバレッジを効かせた成長投資 - シンジケートローン組成(140億円) - 不要資産の整理・圧縮 - NICCA USAでの土地売却
3. SR／IR強化 - 株主還元方針の見直し - 安定配当方針に加えDOE目標を導入 - 株主及び投資家との対話強化	1株当たり年間配当金 2019年16円→2025年予想60円 - 個人投資家向け会社説明会を充実 他

詳細はこちらをご参照ください (<https://www.nicca.co.jp/ir/scenario.html>)

目次

1	— 日華化学とは	P 4
2	— 中長期グループ成長シナリオ	P 24
3	— 株主還元	P 31
4	— 2025年第2四半期 決算概要	P 34

配当方針



	変更前	変更後 (2024/7/31変更)
基本方針	安定配当	安定配当 + 累進配当
目標水準	配当性向30%を目安	2~3年以内に DOE3% を目指し、 その後も高めることを継続検討

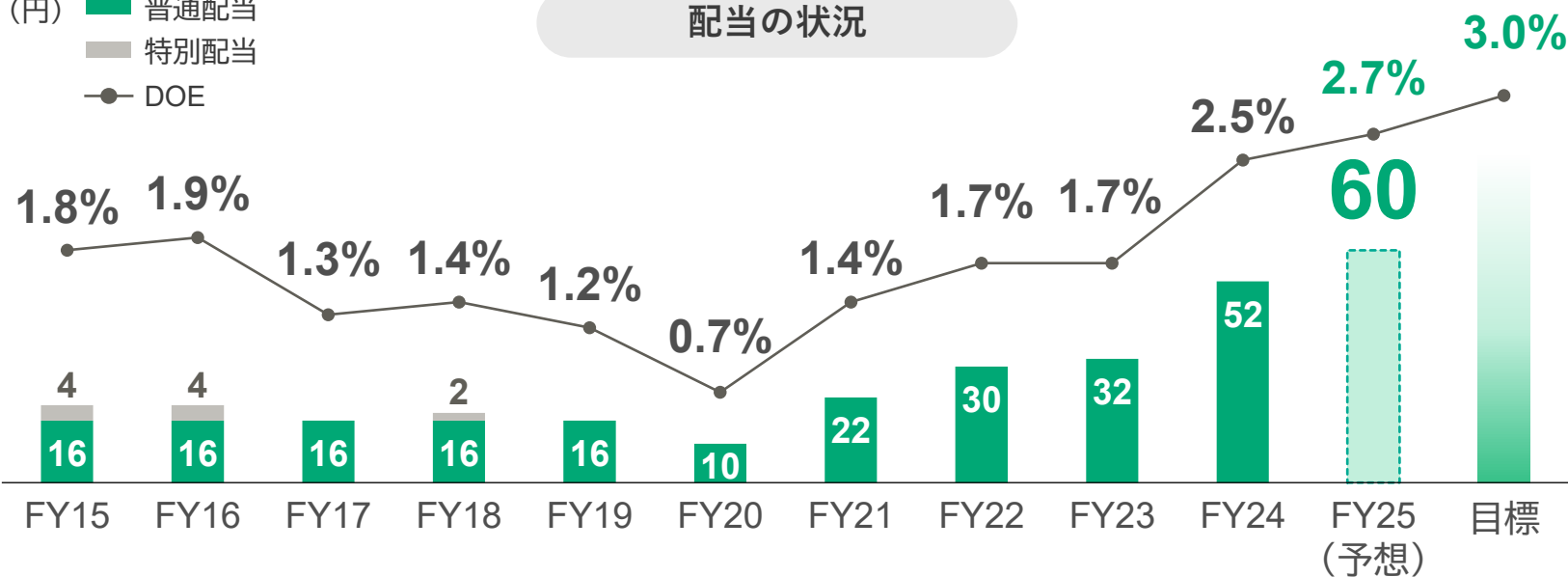
配当利回り
(会社予想)

4.47%

※2025/8/27時点

(円) ■ 普通配当
■ 特別配当
● DOE

配当の状況



株主優待



当社の美容室専売頭髪用化粧品

「デミ コスメティクス」の各種商品をお届け

株主還元利回り（会社予想）

5.21% ※2025/8/27時点
※500株保有の場合

保有株式数	優待内容（2023年実績）
500株以上～ 1,000株 未満	当社のヘアケア・スタイリング商品の中から 合計 5,000円 以内で自由選択
1,000株以上～ 3,000株 未満	当社のヘアケア・スタイリング商品の中から 合計 7,000円 以内で自由選択
3,000株 以上	当社のヘアケア・スタイリング商品の中から 合計 12,000円 以内で自由選択



※ 期末配当金・株主優待／権利確定日 2025年12月26日（金）

目次

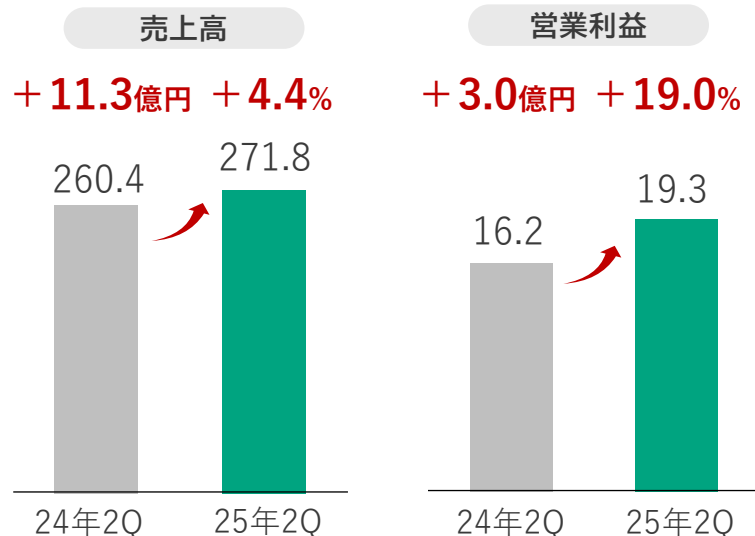
1	— 日華化学とは	P 4
2	— 中長期グループ成長シナリオ	P 24
3	— 株主還元	P 31
4	— 2025年第2四半期 決算概要	P 34

2025年第2四半期 決算概要 (2025/7/31発表)



売上高・営業利益ともに**上期として過去最高**
 経常利益・当期利益は為替の影響等受け減益

単位 (億円)	24年2Q	25年2Q
売上高	260.4	271.8
営業利益 (営業利益率)	16.2 (6.2%)	19.3 (7.1%)
経常利益	20.7	17.5
親会社株主に帰属する 中間純利益	12.1	9.9



トランプ関税の影響を受けるものの、通期売上高、営業利益、配当予想は**過去最高となる見通し**
 経常利益・当期利益は上期の業績状況・為替の影響等踏まえ下方修正



2025年第2四半期 決算概要 (2025/7/31発表)



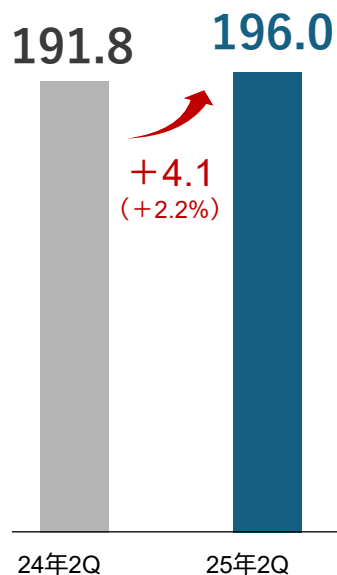
【化学品】 増収・増益

売上高、セグメント利益額・率
ともに**過去最高**

✓ EHD好調、中国・インド等伸長

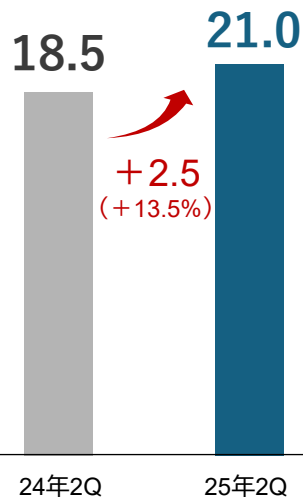
売上高

(億円)



セグメント利益

(億円)



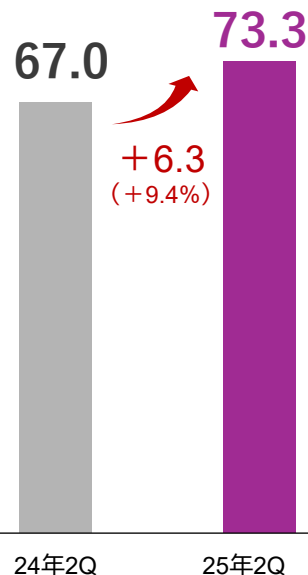
【化粧品】 増収・増益

売上高は**過去最高**

✓ ODM事業好調、新商品・注力商品販売堅調、
韓国市場専用ヘアケア販売増

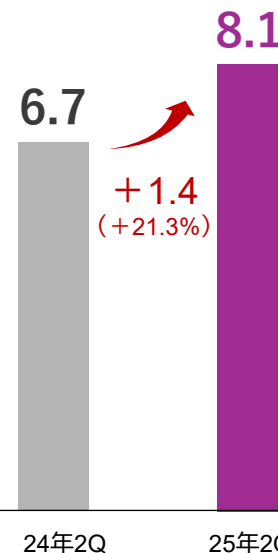
売上高

(億円)



セグメント利益

(億円)



本日のまとめ

1. 化学品・化粧品2つの事業領域で人々の豊かな暮らしに貢献 9つの国と地域16拠点に展開するグローバル企業

- ・ **化学品**事業：繊維加工用薬剤を中心にグローバル展開。国内シェアNO.1製品多数
- ・ **化粧品**事業：美容室専売ヘアケア商品等の開発。レシピ開発力を武器に業界をリード

2. 中長期グループ成長シナリオを策定（2024/7/31）

- ・ 売上・利益面での成長に加え、「ROE＝安定的に10%以上」を中長期重点目標に策定
- ・ **化粧品**：新工場設立、**化学品**：EHDシフトにより事業の収益性向上を目指す
- ・ 取り組み方針に対するその後の進捗状況などについて、2025/7/31に資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（アップデート）を公表

3. 株主還元の充実（2024/7/31 株主還元方針変更）

- ・ 「安定配当」に加え「累進配当」を導入
- ・ 2～3年以内にDOE3%を目指し、その後も高めることを継続検討

4. 25年上期：売上高、営業利益共に上期として過去最高

- ・ 経常利益・当期利益は為替の影響等受け減益
- ・ トランプ関税の影響を受けるものの、通期売上高・営業利益は過去最高となる見込み
- ・ 一方、経常利益・当期利益は為替の影響等踏まえ下方修正

更に詳しく知りたい方へ



当社のホームページに様々なIR情報を掲載しておりますので、是非ご覧ください！

＼IRサイトをリニューアルしました／



日華化学株式会社 IR

検索

(当社IRサイトURL <https://www.nicca.co.jp/ir/>)

経営陣の想い (社長・副社長・常務)



資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について (アップデート)



当社研究拠点 ドローンツアー





輝け、カガクで。

Activate Your Life

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ先

 日華化学株式会社 IR担当

TEL: (0776) 25-8584 (直通)

<https://www.nicca.co.jp/contact/form.php>

この資料には、2025年7月31日現在の将来に対する見通し及び計画に基づく予測が含まれています。
経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があります。